

### 国家試験に携わった主任、副主任の先生方ご苦労様でした

大学との懇談会が開催されました。まず国家試験の結果報告があり、そして今年国家試験を受験した学生を直接担当された教職員の方々の慰労を兼ねご苦労話を聞く会が行われました。今回の歯科医師国家試験の合格率全国一位は快挙というべきで、平成17年頃厚労相と文科相との「確認書」により歯科医師国家試験の合格基準が引き上げられるようになってからどの大学でも100%達成が困難とされていましたが、東京歯科大学では97.4%と高い合格率を示しました。その上、既卒者においても全国平均47.5%に対し91.7%という高い数字が出てきました。「学生たちが一生懸命だった」、「学生が学生の面倒をみるなどよいムードだった」、「データ分析がしっかりしていた」などと謙虚に学内のチームプレイを称える卒業学年主任の末石研二先生と副主任の先生方、既卒者の主任の佐藤亨先生と副主任の先生方、そして教務課や学生課の方々を大いに慰労しました。最後に宮地副会長から、同窓として大いなる誇りをもてるようになり慰労というより感謝の言葉が適しているとの挨拶もあり、ぜひ来年もという期待で会を閉じました。

(参考：敬称略)

新卒者学年主任：末石研二

新卒者学年副主任：森永一喜・澁川義幸・野村武史・大久保真衣・野本俊太郎

既卒者学年主任：佐藤 亨

既卒者学年副主任：阿部伸一・上田貴之・西川慶一

### ご寄付お願いします

移転のタイムスケジュールをみますと平成25年3月本館校舎（仮称）改修完了、平成25年5月新館校舎（仮称）完成とあり、同窓会が募金協力している「新血協記念ホール」が出来上がるまであと約一年となります。しかし同窓からの協力の目標である5億円に対し、まだ1億5,745万5000円（5月9日時点）と大変心配な状況にあります。国家試験の合格率をみてわかるように母校も一生懸命ですし、今後移転を機会に名実ともに日本一になることを期待するところであり、同窓も一丸となり応援したいところです。

地域支部連合会の総会もスタートし、地域支部の支部長の先生方おひとりおひとりに直接寄付協力のおねがいをしております。支部長の先生方から快いお返事をいただいております。支部に所属する会員の先生方をお願いしてくれるとのことでした。大学と同窓会との絆となる新血協記念ホールの建設費用を何とか同窓の力で協力したいと思っています。一口2万円で、できれば10口以上の寄付となってはおりますが、一口2万円でも結構です。まだの方は今すぐに、そしてすでに寄付された方は隣にいる同窓の先生に声掛けをよろしくお願いします。会員全員からのご寄付をお願いいたします。

## 母校水道橋移転・血脇記念ホール建設のための同窓募金協力の申込み現況（5月9日現在）

受付状況	同窓人数	640人	(目標6000人)
	団体寄付	9支部	
受付金額	1億5,745万5千円	(目標5億円)	
	(9支部・団体寄付を含む)		

### 地域支部連合会別状況

北海道	26件	462万円	東北	35件	786万円
関東	182件	4,298万円	東京	184件	6,332万円
信越	30件	720万円	北陸	13(1)件	252万円
東海	40件	720万円	近畿	20(2)件	483万円
中国	31(2)件	519万円	四国	68件	632万円
九州	20(4)件	541.5万円			

注：この数字は2012年5月9日現在の申し込み状況です。件数は、団体件数を含み、  
( )内は、支部の団体寄付件数で、金額は、団体寄付を含んでおります。

### 平成24年度地域支部連合会総会（支部長会）がスタート

4月15日(日)第一弾として**中国地域支部連合会**総会・支部長会が岡山で開催されました。母校から矢島教授が大学の報告を、そして梅村副会長が会長代理で挨拶し、その後高橋専務も交え機構改革での評議員の選出方法について、寄付への対応について意見交換がされました。広島県高木支部長より卒年ではなく明治28年の開校以来の期を使おうとの提唱もされました。高木先生によると「期」で表現する利点は、

①昭和時代は卒業年で卒業年の共通の認識ができましたが、最近のように平成の卒業生が増えるとなかなか共通の認識が持てません。例えば「昭和の卒業生と平成の卒業生とで何年差があるか？」という時に「期」で表現するとすぐに理解できる。

②永い歴史のある大学であることを強調できる。

ということで、名簿から添付ファイルのように卒業期と卒業年の関連をまとめて見ました。戦中と戦後に変則的な「期」がありますが、法則に気づきました「昭和は30を足すと、卒業期に。平成は93をプラスすると卒業期になり、平成24年の卒業生は117期になるんだ」そうです。（「支部—本部 情報ネット」より）

(参考：各県支部長)

鳥取県支部：小徳省三先生（S49年卒）、島根県支部：山本昭彦先生（S46年卒）

岡山県支部：倉田庸生先生（S54年卒）、広島県支部：高木勇蔵先生（S44年卒）

山口県支部：藤井寛昭先生（S50年卒）

5月12日(土)、**四国地域支部連合会**総会が徳島で開催されました。総会前に4支部長と久保田地域支部連合会長、そして同窓会矢崎会長・同窓会高橋専務との支部長会があり、一県一評議員の経過措置に対する四国地域の考え方を伺ったり、また四国出身の在校生や父兄をご招待するイベントがあるので父兄会名簿の閲覧を是非との要望もあり対応を協議

しました。総会では矢崎会長のあいさつから始まり、若手対策そして母校との連携を重点とした意気込みを述べられました。母校から井出学長がご挨拶と大学報告をされました。誰もが国家試験合格率日本一にまつわるお話を期待し、そこでいろいろなご苦労談や秘策を聞くことがきで参加者一同、盛り上がったひと時を過ごすことができました。

(参考：各県支部長)

徳島県支部：宮井義博先生（S 4 9 年卒）、香川県支部：藤本 清先生（S 4 8 年卒）  
愛媛県支部：横山洋行先生（S 5 3 年卒）、高知県支部：西川文雄先生（S 4 7 年卒）

5月19日（土）、北陸地域支部連合会支部長会が金沢で開催され、3県の支部長（石川県は高井副支部長）と同窓会加藤理事（連合会会長・石川県支部長）・臼井常任理事の5名の出席で開催され、本部報告、新支部長（富山県支部）山崎安仁先生紹介・挨拶、評議員の選出、「新血脇記念ホール建設のための同窓からの寄付協力」について等、意見交換をさせていただきました。その席で、福井県支部の伊藤透支部長から、昭和35年の大学院設置に当たる寄付に対するお父様への「感謝状」を拝見させていただきました。

### インプラントセミナーが開講

東京歯科大学との連携の元、臨床講座・基礎講座から、そして臨床家から本学の誇るインプラント関連の講師陣を豪華に集めた「TDCインプラントセミナー・マスターコース2012」が5月12日（土）に開講いたしました。5月から（8月を除き）10月までの毎月1回土曜・日曜の二日間、全部で10日間のコースです。第1回の講師陣は宮地建夫先生・小宮山彌太郎先生・井上孝先生・武田孝之先生と壮そうたる先生方でスタートしました。また、初日講演後のセミナーオープニングパーティーでは受講者と講師陣が交流を図り、親睦を深めるひとときがありました。

### 会務検討特別委員会が開かれました

特別委員会には、大きく3つの課題を諮問致しました。一つは評議員選出の際の最低でも1県1評議員の経過措置の検討、もう一つは幾度か要望がありました選挙規則について、そして三つめは矢崎執行部の重点課題である若手会員対策です。

選挙規則についてですが、従来のやり方を選挙規則で成文化し追認すること、公平性・透明性を確保しながらも、良き伝統を守る選挙規則を基本とすることを理事会で確認しており、その方向で検討をお願いしました。第1回委員会は5月17日に開催され、中川杉生先生（S 4 4 年卒）が委員長に選出され、委員長の進行のもと、機構改革の今までの経緯、他大学同窓会・校友会の選挙規則の分析など丹念に資料を精査され、11月3日に開催される評議員会を視野においた今後のスケジュールや議論の進め方などを検討されました。

(参考：敬称略) (◎：委員長・○：副委員長)

委員：◎中川杉生、○大井誠一、佐藤享、鳩貝尚志、山滋、池田嘉徳、佐藤剛



会長挨拶 (大学との懇談会)  
24. 5. 8



新卒学年主任・副主任  
24. 5. 8



既卒学年主任・副主任  
24. 5. 8



中国地域支部連合会総会  
24. 4. 15



中国地域支部連合会総会  
・懇親会 24. 4. 15



四国地域支部連合会総会  
24. 5. 12



四国地域支部連合会総会  
24. 5. 12



北陸地域支部連合会支部長会  
24. 5. 19



大学からの感謝状



インプラントセミナー開講式  
24. 5. 12



会務検討特別委員会①  
24. 5. 17



会務検討特別委員会②  
24. 5. 17

(情報ネット推進会議発)